



探究ニュース Access No. 27

発行日 令和5年3月23日

目次

- I 探究成果発表会2022開催！
- II 台湾国際交流研修旅行台湾姉妹校交流【報告】
- III 2022年度トロントリサーチプログラム海外研修旅行

I 探究成果発表会2022開催！

3月11日(土)春のあたたかな陽気のもと、探究成果発表会が開催されました。

見学には本校生徒だけでなく、お世話になっている講師の先生方や、新入学予定の中学3年生も来校されました。さまざまな人が皆さんの研究に興味をもって、その研究の過程や成果を熱心に聴き、また質問や意見をいただきました。人前で発表することは、緊張や不安を抱えることであったかもしれませんが、この一日を通して、皆さんはかけがえのない経験を得ることができ、大きな成長を感じたのではないのでしょうか。

探究成果発表会全体のスケジュール

8:45~9:00 設営 準備(各会場)
9:00 開会のあいさつ(放送)

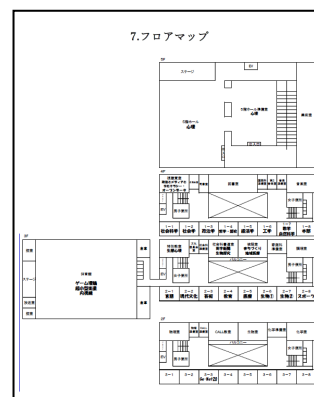
【第1部 ポスターセッション】(各教室)
※1グループ25分
オーディエンスの前で発表します。

【第2部 代表生徒プレゼンテーション】
※1回の発表は15分
(発表8分+質疑応答5分+転換2分)

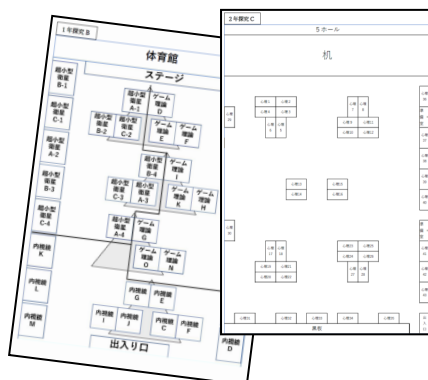
12:15~ 閉会のことば(放送)



プログラム表紙



フロアマップ



発表会場は教室だけでなく、5ホールや体育館も

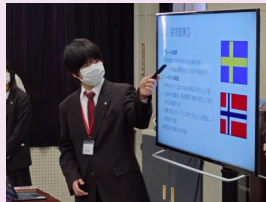
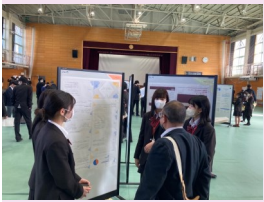
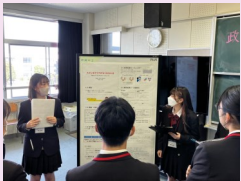


GE-NET20 学習成果発表会

47期 Voice

ー47期(1年生)のポスターセッションや口頭発表を聞いて今後参考にしたいことー

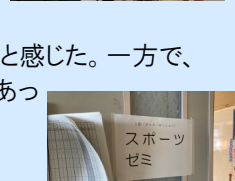
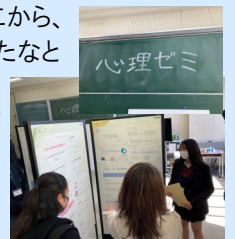
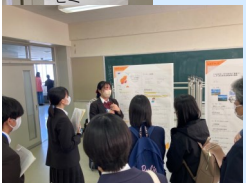
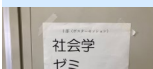
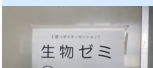
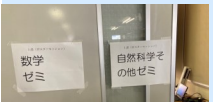
- 内視鏡の口頭発表で、内視鏡に知識がない人でもなんとなくの知識で聞かせるのではなくて、わかるように1から説明していて分かりやすかった。
- 実際の衛星の写真などをパワポの中に入れていて分かりやすかった。
- みなさん原稿を完璧に覚えている、という訳ではなくて、パワポを見てその場で付け足していく、と言った発表をしていて頭の中に内容が完璧に入っているからこそ出来ることなんだな、と感心しました。
- ゲーム理論の考え方がとても面白かった。口頭発表を聴いて、予想外の質問にもしっかり受け答えするためには、発表すること以外にもその分野での幅広い知識を持っていることが必要なのだと気づいた。
- 統計されたデータを使っているということ。私のグループは実験によって自分たちでデータを割り出したのでこういうデータの活用も面白いなと思いました。
- ポスターだけでなく、自分のPCで追加資料を見せながら説明しているところがわかりやすかった。
- 身振りや手振りが多い人はすごく伝えようとしていることがよくわかるので真似したいなと思いました。また、生物ゼミの粘菌の探究がとても本格的で興味を持ちました。
- まちづくりプロジェクトは、八王子市民として引き付けられるものが多かった。その分口頭発表では活発な質疑応答ができた。
- 資料を指さしながら話していて、途中から聞いていてもどの部分を話しているのか分かりやすかった。難しい専門的な内容を誰にでも理解できるように分かりやすく説明しようとしている発表が多くて良かった。「今から晴れるよ」などの興味を引くタイトルが多く良かった。



ー他の発表や他者の質問や指摘から「ハッ」としたことや新たに気付いたことー

46期 Voice

- これまでは社会が難病患者に対して行動できることを考えていたが、逆に難病患者はどのような行動ができるのかという指摘をいただいた。
- 統計調査だけでなく、校内の生徒に対してのアンケート調査や専門家へのインタビューなど、様々なアプローチを試す事が重要だと気付いた。
- アンケートを行っている探究のほとんどが、今後の課題に「データの収集対象年代の偏り」をあげていた。この問題の解決はどうしたら良いのだろうか。
- 将来の夢と結びつけたテーマで発表している友達がとても輝いて見えて、私のテーマは何かと結びつくだらうかと深く考えた。
- 出た結果から、今後はどうなっていくのかについて、私自身の意見を求められた。そこから、確かに結果からの考察は沢山したもの、自分で考えるということあまりしていなかったなということに気づかされた。
- 口頭発表で出た質問でさらっと言ったことの背景(もし〜したらどうなるのか)等への質問があり、日頃から考えていた事だったので咄嗟に対応出来た。頭の中で考えて練っておくことは重要だと気がついた。
- 全体知識の共有は必要だと思った。相手がどの程度の知識まで持っているかを発表前に聞いた方が良くもしいない。
- 他者の発表を見て、専門用語を使った発表はどんなに優れた内容でも理解しづらいと感じた。一方で、身近な言葉で実生活と結びつけた発表は理解しやすく、比較的面白いと感じる傾向にあった。聞き手を意識するとは、こういうことなのだ実感した。
- 人に問いかけることは一方的な発表にならないために大切！
- 先行研究や結果からの思考の転換が一番大事。
- 重要なことは本当に繰り返さないと趣旨が見えない。なぜこのような問いが思い浮かんだのですかという質問に自分では当たり前だと思っていることでも他者からすればわからないと言うことがわかった。



来年探究Cに取り組む47期生へのアドバイスです。自分の活動を振り返り、ナイスアドバイスをお願いします！

- 本当に自分の好きなものじゃないと続かない！（これガチ）続かなすぎてコロコロ変えてた時期(9月が一番悩むよ)もあった。(3回は変えました)
- 本当に自分の好きなこと、熱を持っていることを考えるといいと思います。大学とか将来でやりたいことがなくても、今の自分の目線で考えて大丈夫だと思います。
- 曖昧な表現(魅力的etc.)は避けるようにする。また、できるだけ対象を絞り、具体的にする。
- 課題設定が探究の肝なので、マインドマップを活用して熟考することをおすすめします！
- 自分が幼い頃から気になっていたこと・疑問に思っていたことを調査するチャンスです！もしそれが無ければ、Youtubeに上がっているニュース特集動画や国語探究などの授業で一度触れたトピック(軽く調べて少しでも興味が湧いたもの)についてもっと調べてみると、自分が思っているよりも深い探究テーマが設定できると思います。
- 自分が進むであろう将来の道と関連する内容を扱う人が多いとは思いますが、全く異なる内容を選んでも多様な考え方を持てるようになるので、間接的に役立つと感じた。ぜひ、自分に忠実に。欲望のままに。好きなことほど、意味のある探究になるはず。
- 問いが浮かばない時、興味を持った分野についてよく調べていくと、自然と問いが生まれる。探究の第一歩は知識を身につけること。

**最後に、探究全体を通じての感想を教えてください。**

- 自分の興味のある分野を授業としてとことん追究することの楽しさを学びました！大学が楽しみです！
- 好きなことを突き詰めるのは楽しくもあり、大変でもあり、一時は嫌いになりかけましたがやり遂げることができて良かった。
- 今年は去年より制限がなく、去年よりずっとこの学校の一大行事だ、という風を感じた。みんなしっかり探究していたり、探究だけでなく、準備や片付けをしたり、実行委員が動いてくれていたりして、他の生徒から受ける刺激も多かった。
- 一年の時よりも自分でやらなければいけないことが多くて大変でしたが、新しい考え方や物の見方などを得られてよかったです。
- B探究と違って、Cは1人で探究をして、かつ手法も色々組み合わせないといけないので、上手くできるか不安だったが、ゼミのみんなの探究を参考にさせてもらいながら、なんとか終わらせることが出来たのでよかった。論文の書き方やパワーポイントの書き方など、これから必要になる機会が多くなると思うので、学ぶことが出来て良かった。
- 1年間、個人で行う探究は、途中から本当にテーマに合ってるか不安になってしまったり、調査があまり上手くいかなかったりしたけど、自分が本当に考えたいことをテーマにしたので、最後までやり切ることができた。今後も探究活動で学んだことを活かしていきたい。
- 探究を通じて自分自身に向き合う事ができたと感じる。また、多様な探究手法を学ぶ中で、国語や英語の作文などにも生かせるのだと気付いた。この経験をこれから先も忘れる事なく、心に留めておきたい。
- 成果発表会みんな生き生きして楽しそうだったし楽しかったです。
- 自分でテーマを1から決める時ほど、自分の興味や関心に向き合っ、かつそれを形にしたことは無かったし、悩むってことは自分の興味あまり具体性を持っていないということだから、そこを突き詰めるのは大変だけど、すごく面白いことだと思った。
- 探究を始めてから、身近に疑問に思うことも「これも探究できるかも」と思うようになりました。また、何かを探究していくことを面倒だと思わなくなったのも、この2年間の探究活動を通して、探究することの面白さを理解することが出来たためだと思います。振り返ってみると、様々な経験ができてとても楽しかったです。

講師の先生方や
他校の先生方の感想

- 自分たちが半年間かけて取り組んできた独自の研究の成果を目を輝かせながら発表している生徒の姿はとても好印象だった。これまで高校生にとっての学校行事と言えば、体育祭・文化祭が主であったと思われるが、生徒たちの学習意欲を引き出し、各々が主体的に取り組むイキイキと発表している成果発表会は、文化祭などに匹敵する重要且つ意義ある看板授業・看板行事の一つになっていると感じた。
- 広く他の公立高校の先生方にも見学いただいたり、難しいかもしれませんが、例えば高校間で発表しあうなどできると、生徒さんのさらなる刺激につながるのではないかなと感じました。
- 1年生の探究については、実際の実験を行っている発表がもう少し多いといいなと感じました。私自身がアドバイザーとして生徒さんが取り組みそうなテーマをもっと提示できれば良かったのですが、それが出来ず申し訳なく思っています。一方で、ちゃんと仮説を立てることができている発表が多く見られ、それはとても良かった点だと思います。その検証がうまくできれば、十分に良い課題研究になると感じました。



- 先生方や生徒さんの対応が良かったです。席を譲ってくれたり、教えてくれたりして良かったです！！入学が楽しみです！！
- どの発表のクオリティが高く、一生懸命準備してきたのが伝わってきました。
- 身の回りのことを深く調べることで簡単なことも色々なものによってできてるのだとわかった

中学生の皆さんの感想

II 台湾国際交流研修旅行 台湾姉妹校交流【報告】

2月22日～25日に実施された台湾国際交流研修旅行！

1年生8名、2年生8名の計16名の生徒が高雄、台北という台湾を代表する趣の異なる都市の観光や、高雄中等高級中学での授業体験、生徒の皆さんと様々な交流などを行い、見聞を深めました。

Voice

－高雄中等高級中学での感想－

●とても歓迎していただきました。午前から午後までのプランもしっかりと決められており、また適宜変更されるも一切滞りなく、充実した時間を過ごすことができました。来年度以降はもう少し夜市など、気軽な交流ができる時間が増えると嬉しい。

●行くまでは一番恐れていた日程だったが実際に会ってみたらとても良い人ばかりで一番楽しかった。自分の英語力が全然だということに気づいた。英語を勉強するモチベーションになる1日だったと思う。1個しか歳が変わらないのにあんなにしっかりした頼れる人がいるのかと驚いた。

●すごく丁寧に熱心に対応してくださって感動しました。学校や学力や生活レベルの差に驚き、自分も頑張ろうと思いました。

●高雄中等の生徒さんにとっても圧倒されました。授業やアクティビティを通じてみんなと仲良くなれたし、台湾の高校と日本の高校の違いを沢山知れてとても楽しかったです。

●初めて英語を実用面で使う機会になって非常に良い経験になった。互いに親睦を深めようという思いを伝えることができれば、仲良くなれるということが分かった。一方で英語の能力が全く足りていない、中国語が全く使えないという状況になったのもっと勉強するべきだったように感じた。台湾の人が今感じていることを知れたことが良かった。

●日本国内ではあまりできることのない貴重な経験をした。自分の進路を考える上での選択が増えたと思う。楽しかった！

●本当に楽しかったです。言語の壁こそあったものの、それを乗り越えるほどの友情を築けたと思います。たった1日の交流でしたが、本当に刺激だらけで、学ぶことしかなかったです。



高雄空港へ出発！

2日目 高雄中等高級中学への訪問



3日目新幹線で台北へ移動…B&Sへ！

4日目は故宮博物院、龍山寺等各自見学して帰国しました



| 日付 | 月日 | 種別 | 時間 | 交通手段 | スケジュール | 備考 |
|----|-------|------------|-------|------|--------|----|
| 1 | 2月22日 | 成田空港発 | 17:30 | 飛行機 | 高雄 | |
| 2 | 2月23日 | 高雄中等高級中学訪問 | 08:00 | バス | 高雄 | |
| 3 | 2月24日 | 台北移動 | 08:00 | 新幹線 | 台北 | |
| 4 | 2月25日 | 台北観光 | 08:00 | バス | 台北 | |
| 5 | 2月26日 | 成田空港着 | 15:00 | 飛行機 | 成田 | |

旅行の日程表

III 2022年度トロントリサーチプログラム海外研修旅行

カナディアンスタディーズは、3月19日～26日の日程でカナダ・トロントに渡航し、フィールドワークを行うプログラムです。カナダの社会や自然、文化などに関するリサーチを実践し、カナダで活躍する日本人からグローバル社会で活躍する資質を学び、カナダの方との交流によって相互理解を深めるこの研修旅行には、1年12名、2年6名、計18名が参加しています。皆さんはちょうど現在(3/23)旅行中！ここでは旅行の行程を紹介します。

3月19日(日)

18:35 成田空港 発
17:35 トロント空港 着



3月20日(月)

- 在トロント日本総領事館 訪問
- トロント大学 見学
- B&Sトロント市内散策

3月21日(火)

- バスツアー
ナイアガラ、国境地帯見学
- グループ毎に分かれて教育プログラム



3月22日(水)

- 日系カナダ人文化会館 見学
- トロント日本商工会 訪問
講義「海外で活躍する」
- The Japan Foundation 訪問
講義「日本をプロモーションする」



3月23日(木)

- 開拓村 見学
「開拓者の側、先住民の側双方から開拓の歴史を考察する」、メイプル体験
- オンタリオ博物館 ワークショップ&見学

3月24日(金)

- CWジェフェリー高校 交流&授業参加
- トロント大学
大学生の前で発表とワークショップ



3月25日(土)

13:40 トロント空港 発



3月26日(日)

15:10 成田空港 着

※トロントと東京の時差は、-13時間です